

【礼拝賛美】鹿のように（2回）

谷川の流れを慕う 鹿のように
主よわが魂 あなたを慕う
あなたこそ わが盾 あなたこそ わが力
あなたこそ わが望み われは主を仰ぐ

【消息 報告】

・各会例会報告

今月は、ミモザ会主催と青年会主催の二つの例会が行われました。

ミモザ会主催の例会では、DVD「神の沈黙」が上映され、長崎への原爆投下と、長崎と五島列島の地域で行われたキリシタン迫害についてのドキュメンタリーでした。交わらないと思った二つの歴史的な出来事が不思議な繋がりを持っていたという視点から、歴史を支配する神の臨在を感じたことです。重いテーマでしたが尊いメッセージがありました。

青年会主催の例会は、「祈禱会例会」という形でした。毎週木曜日に行う蒲田シオンの祈禱会の順序で行い、祈り合う時、分かち合いの時を持ちました。普段はあまり聞く機会がない世代を超えた証にお互いに耳を傾けました。祈りと分かち合いによる霊の交わりの時でした。例会の最後には、今週に御家族で渡米する中学生メンバーを送り出す記念の時も持ちました。

今回は、ダニエル会とオリーブ会は、ミモザ会と青年会の例会に分かれて出席するという変則的な形式でした。普段とは違う交わりの機会になり、有意義でした。秋には、分科会形式での例会を予定しており、会長会が中心に準備が進んでいます。様々な形で交わりの機会が提供されて感謝です。

例会開催のために労された兄弟姉妹に感謝いたします。

・林眞光伝道師は先週、奥多摩バイブルシヤレーの主催キャンプに奉仕者として参加。良い経験の時となりました。

このキャンプには一般参加として横浜シオンから二人のメンバーが参加。林先生が送迎をお手伝いしました。参加したメンバーもとても恵まれたそうです。感謝します。



「この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことでなく、神の賜物です。行いによるものではありません。だれも誇るものがないためです。」

今朝は「この恵みのゆえに」と題してお話を進めます。

過日、〇県の山間地の町で六〇年にわたり教会活動が続けている私の先輩からある話を聞き、そのことにすごく感動しました。

その先輩は、聖宣神学院在籍の当時、S県の西部にある小さな市に教会開設の開拓伝道にもう一人の先輩と派遣されました。その時、そのもう一人の先輩が、ある大先輩の先生からみことばを聞きました。それは、ルカ十七章十節（文語体で）「われらは無益なるしもべなり。なすべきことをなしたるのみと言え」というみことばです。もう一人の先輩から話を聞いた私の先輩は、それ以来六〇年間、ずっとこのみことばを心に留め今日に至っているのだそうです。私は感動しそれ以来、『謙遜・へりくだる』との言葉が私の心に深く留められています。

そして同時に、冒頭のみことばの特に「この恵みのゆえ」が強く迫ってまいりました。

今ある私という存在が「この恵みのゆえに」あるということです。この地に生を受けて以来今日に至るまで、その一切はひとえに「恵みのゆえ」に尽きます。

「我は無益なしもべなり。なすべきことをなしたるのみと言え」

「謙遜」こそ伝道者として生きてきた私の信仰の原点。誇りと傲慢の罪こそ大敵。「恵み」について一節から七節で三つを取り上げます。

一、教会形成の素材

「あなたがたは自分の背き（罪過）と罪の中に死んでいた者であって…」。罪過は間違った歩み。罪は人生的を射るのに失敗すること。この二つは道徳的、霊的死です。

「かつては、それらの罪の中にあって、この世の流れに従い…」。これはこの世の生き方に従っていた姿です。

「空中の權威を持つ支配者…に従って歩んでいた」。神に反抗する悪魔に従って生きてきたのです。

「私たちもみな不従順の子らの中にあって…」。キリストのない自己自身の道を生活して「生まれながら御怒りを受くべき子ら…」として神の刑罰を受ける宣言です。

二、教会形成の手段

それは「神の恵み」です。罪の中に死んでいた者をキリストと共に生かしてくださった。

「この恵みのゆえに」でしかないのです。

三、教会形成の目的

「私たちは神の作品であって」。ある方は、私たちは神の作品は『神の芸術品』と言います。

恵みを施す方は、ヨハネ一章十四・十六節の人となられた神とその臨在です。十六節は「恵みに代えて恵みを」です。環境が代わる毎に異なる恵みが備えられていくということです。（英）

8月10日 聖日礼拝

小礼拝 9時〜 荻野牧師
聖日礼拝 11時〜 中西け兄 榊原姉
前 奏
招 詞 マタイの福音書 11章28節
会衆賛美 聖歌432 汚れとはじとの
会衆賛美 鹿のように(2回)
主の祈り
交 読 詩篇52篇1〜9節
(旧約聖書 986頁)
礼拝祈禱
使徒信条
聖書朗読 エペソ人への手紙
2章1〜10節
(新約聖書 385頁)
説 教 この恵みのゆえに
田中 英 師
会衆賛美 聖歌631 罪に満てる世界
献 金
頌 栄 聖歌376 父御子御霊の
祝 祷
報告
感謝祈禱 奏樂

【招 詞(主の招きのことば)】

マタイの福音書11章28節「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとにきなさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」アーメン

【本日の予定】

■会堂清掃 礼拝後
■小学科礼拝 11時〜 3階
■ホザナ礼拝 11時〜 3階
お話 林伝道師
■バイブルカフェ
12時15分〜 45分 談話室
■ホザナ会企画
「宿題を終わらせよう会」
13時15分〜 6階
■教会設備補修検討会
13時15分〜 牧師室

【本日の礼拝奉仕者】

■小礼拝・オンライン配信
礼拝祈禱 荻野牧師
報告 荻野牧師
会場
配信 配信チーム
■聖日礼拝
礼拝祈禱
聖書朗読
献金1階 2階
献金祈禱 司会者
報告 荻野泰弘
会場
受付
パワポ パワポチーム

【今週の予定】

14(木) 10時半〜 祈禱会
【次週の礼拝説教】 林伝道師
17日は聖日礼拝報告時に献児式を予定しています。司式 荻野牧

【次週 8/17】手話賛美 練習

10月ブレイズサンデーでの奉仕を予定。次週が第1回目の練習です。奉仕者はご参加ください。

8/17 13時半〜15時 礼拝堂

8/24 文書伝道デイ

〜あかしと出張販売〜
2回の礼拝の各報告時に、いのちのことば社のご担当者より文書伝道の証しがあります。書籍等の販売も。

9/7 創立記念礼拝

創立91周年です。今年の創立記念礼拝では洗礼式があります。(1名)一人の人が救われる喜びを共有する創立記念の時としましょう。

【お祈りください】

■小学科キャンプ(蒲田茅ヶ崎合同)

8/22(金)〜23(土)
蒲田小学生は3名参加。

■オールシオン青年キャンプ

9/12(金)〜14(日)

【第67回 霊修会】申込受付中

*日程 10/12(日)タ〜13(月祝)
*テーマ「聖霊にゆだねて
〜神から来る〜」
*会場 湘南国際村センター(葉山町)
*講師 岩上祝仁師
インマヌエル綜合伝道団 代表
インマヌエル神戸教会 主任牧師
宿泊施設の空室状況によっては部屋タイプなどご希望に添えない場合があります。参加希望の方は早めにお申し込みください。

【会堂清掃奉仕者募集】

礼拝堂掲示板にて、週ごとに奉仕者を募っています。奉仕分担表に御記名ください。

日ごろの兄弟姉妹のご協力に感謝します。

8月より奉仕者を募る形で会堂清掃を行っています。数名の方が、奉仕分担表(礼拝堂掲示板)にお名前をご記入くださっています。さらにご奉仕者に加わることを期待します。よろしくお願いたします。

【特別講演会】

4000名を看取った
クリスチャン医師が語る
「死を意識して生きる希望」
〜もしあと一年で
人生が終わるとしたら〜

9月14(日) 午後1時半より

■特別講演会「事前学び会」
日時 8月31(日) 午後1時半
会場 3階ホール

テーマに関する動画視聴と小グループでの分かち合い。肩の力を抜いた語らいの場です。

昨日は長崎 原爆の日でした。先週の例会では関連する動画を観ました。戦争の悲惨さに心が痛みます。私たちは自分の周りの小さなところから、平和を造るものでありたいですね。

子どもたちの夏休みも半分が過ぎます。次の時代、世代に平和な社会を渡せるように祈りましょう。

